

## ダニ感染症 (SFTS)の原因・症状・治療

**原因** 早期発見・早期治療が重要な病気です  
マダニに刺されてウイルスが体内に  
入ることが原因で起こる



### 具体的な症状

咬まれてから6日～2週間後に発熱、倦怠感、消化器症状（食欲低下、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛）が現れ、重症の場合は、意識障害、けいれん、こん睡、リンパ節腫脹などの神経症状死に至ることもあります。（風邪の症状に類似）  
（刺し口：ダニに刺されたところが、5～10mmくらいに赤く腫れたり、かさぶたをつくったりします）

### 症状

無理に引き抜こうとすると、ダニの体の一部が皮膚に残ったり、潰れてウイルスに感染したりする可能性があるため、素手では触らず、皮膚科などで処置してもらうのが良い。

### 予防するには……

野山に出かける時は次のことに注意してください

- ・肌を露出しない（長袖・長ズボン・手袋などを着用する）
- ・肌の露出部分には防虫スプレーを使用する
- ・草むらや地面に直接座ったり、衣類をおいたりしないようにする
- ・野山や草むらに入った後は、すぐに入浴して新しい服に着替える  
（発生地域には偏りがあり、九州南部や四国・中国地方で多く発生。宮崎県では南部で多く発生しています）